

あがの市民病院 倫理委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	医療従事者を対象とするインスリン製剤に関するアンケート調査
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
対象期間 2022年3月～2023年3月	
対象者 新潟県厚生連病院所属の医師・看護師・薬剤師	
研究責任者 厚生連長岡中央総合病院 薬剤部長 佐藤 宏 あがの市民病院 薬剤部長 西 大法	
③概要	
<p>「インスリン発見 100 周年を迎えて、医療関係者 100 人に聞きました。 インスリン製剤の種類や注入器、その違いを正しく知っていますか。」</p> <p>インスリンの発見から 100 周年を迎えました。</p> <p>1921 年糖尿病の治療薬としてインスリンが発見され同時に製造が開始されました。現在では様々な種類のインスリン製剤が次々と開発され臨床の現場で使用されています。インスリン製剤は、作用発現時間や作用持続時間により分類されています。また注入器の種類も、カートリッジ型、プレフィルド/キット製剤、バイアル製剤などがあり、患者さんのライフスタイルに応じて使い分けていく必要があります。そこで多岐にわたる各製剤の特徴を理解して適切に使用する事が大切です。しかし、医療関係者の中ではインスリン製剤の違いや正しい使用法を知らない人もいます。また名称や形状が似ている事による取り違えや操作ミスが起こりやすい製剤でもあります。</p> <p>今回、インスリン製剤に関する医療関係者の理解度についてアンケート調査を行い、理解度が低い事やエラーが起こる可能性があること、職種間の認識の違いなどを分析し、インスリン製剤の適正使用をすすめたいと考えています。</p>	
④申請番号	
⑤研究の目的・意義	インスリン製剤に関連するアンケート調査(無記名)を行い、結果を分析してインスリン製剤の適正使用をすすめます。
⑥研究期間	2022年3月～2023年3月
⑦情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	使用するデータは個人情報特定されないようにし、研究に使用します。研究の成果は学会や専門誌などの発表で使用しますが、個人が特定できるような情報を使用する事はありません。
⑧利用または提供する情報の項目	無記名アンケート調査
⑨利用の範囲	長岡中央総合病院 薬剤部長 佐藤 宏 あがの市民病院 薬剤部長 西 大法
⑩試料・情報の管理について責任を有する者・連絡先	長岡中央総合病院 薬剤部長 佐藤 宏 あがの市民病院 薬剤部長 西 大法
⑪お問い合わせ先(照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先)	長岡中央総合病院 薬剤部長 佐藤 宏 0258-35-3700 あがの市民病院 薬剤部長 西 大法 0250-62-2780